



道下公民館だより



「道下の旗」のできるまで

道下地区振興協議会長 大崎 勇

以前から「学校の運動会では、三本のポールに国旗、市旗と並んで校旗を揚げている。地区的体育祭でも校旗にならって地区的旗を揚げたらどうか」という声が上がっていました。

そこで、昨年春の道下地区振興協議会に諮り、正式に旗の制作を進めることになりました。旗のデザインを公募したところ、児童・一般合わせて五十二点の応募がありました。

No. 86 号

発行者 大崎 勇
編集者 編集委員会
TEL 0765-22-2285
ホームページアドレス
<http://www.nice-tv.jp/~michi-k/>



完成した旗のデザインは、「道」をモチーフに、道下の海のロマン、蜃気楼と夕映えをイメージさせる素晴らしいものになりました。十

月十三日の道下ふれあい文化祭初日には、旗のお披露目セレモニーも行いました。

今後、この「道下の旗」は道下地区の象徴として、体育祭に限らず、地区内外の文化・スポーツ行事に揚げたいと思います。また、地区の諸団体への貸し出しを行うなど幅広く活用していきたいと思っています。

九月には、有識者による選考委員会を開いて投票。その結果、夕日と海を描いた森内梅照氏（道下小学校六年）と道下の「道」を蜃気楼風に描いた森内梅照氏（秩迦堂）の作品を合体させることになりました。



道下公民館のホームページが新しくなりました。

★ホームページ検索の仕方

道下公民館のページを見るには [道下公民館](#) 検索

★新ホームページの特徴は

- ①行事予定、活動報告 等の項目と 公民館ブログ を接続
- ②公民館だよりとそのバックナンバーを掲載





道下小2年生73名の迫力あるリズムダンス



ようこそ！お名前をどうぞ。

敬老会
6月6日(日)

蜃氣樓節保存会のみなさん



やはり日本舞踊も良いね



青島保育園児



本新大正琴愛好会のみなさん



若人？のフラダンス

「おはようございます」、道下小学校の体育館にボランティアの子どもたちの元気な声が、こだまする。今年も元気な顔を敬老会に見せるなじみの高齢の方々を見るとなぜかほっとする。

少子高齢化が急速に伸展する魚津市の中において、比較的その進行が遅いといわれる道下地区においても、七十五歳以上の高齢者は確実に増加している。

高齢者が住みなれた地域で安心して住み続けられるよう必要な支援を続けていきたい。

「今年も来たよ」と、元気な高齢者の声が聞きたくて。

「おはようございます」、道下小学校の体育館にボランティアの子どもたちの元気な声が、こだまする。今年も元気な顔を敬老会に見せるなじみの高齢の方々を見るとなぜかほっとする。

少子高齢化が急速に伸展する魚津市の中において、比較的その進行が遅いといわれる道下地区においても、七十五歳以上の高齢者は確実に増加している。

高齢者が住みなれた地域で安心して住み続けられるよう必要な支援を続けていきたい。

「今年も来たよ」と、元気な高齢者の声が聞きたくて。

敬老会を終わつて

地区社協会長
慶伊 敏雄



激しい踊り。後、大丈夫でしたか？



道下はねそ隊



道下自慢の三味線隊



さあ～！みちした隊出発～！

東中生が描いた山車を
道小生が引っ張りました

道小生が描いたボンボリもかわいらしく



道下扇子隊 がんばっています

街流し
6月8日(日)

總 合 成 績

優 勝	青 団	1,113 点
準優勝	黄 団	1,038 点
3 位	緑 団	941 点
4 位	赤 团	887 点
5 位	白 团	855 点



ガンバレー！



道下の団結をラジオ体操で



「むかで競争」に会場騒然



三世代一体で「まめ台風」



にこやかに「チョット、失礼」



「借物競争」館長の勇姿



男性はうれしながらも必死です！



最終種目「混合リレー」 この一戦にかける！

平成22年度体育祭は、好天に恵まれた10月3日(日)に行われました。

9月に入つてから昨年の体育祭の反省等を取り入れるため、各種会議を開催し、今年は新たにシニア(65歳)部門をもうけて、高齢者の方々にも楽しんでもらいました。区長会をはじめとして公民館の各団体の皆様方の多大な協力のもと盛会に終えたことをありがたく思っています。

来年は新しい「道下の旗」の下で、地区の皆様の協力を得ながら取り組んで行きたいと思います。

道下地区

体育祭を顧みて

体育振興会会長 松本 明夫

舞
22年度北鬼江町内では、獅子
ルチーム「インパルス」の全国
大会出場と忙しい日々を過す中、
10月3日の地区体育祭を迎えた。
心となり、「〇〇さんお願ひし
ます」と声掛けし、競技に出席
していただきました。また、新
しくシニアの種目が設けられ、
皆さん元気に参加しました。テ
ントの中へ戻ると、お孫さんが「婆
ちゃん楽しかった?」と聞いて
いる姿を見て老若男女一緒に参
加する体育祭は素晴らしいと感
動しました。今回青団優勝の為
にご協力下さいました町内の皆
様に感謝いたします。

青団優勝！

嬉しいです

下地区住民ゴルフ秋季大会

道下地区 住民ゴルフ春季大会

第29回 道下地区 ビーチボール大会

2010
うおづスペコレク祭

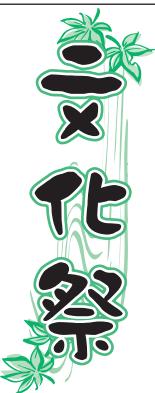
道下地区の各種スポーツ結果



子ども樽みこし出発～！



文化祭で道下の旗完成披露



道下小学校・青島・みちした保育園児の作品です



地域のみなさん・サークルのみなさんの力作です



うまいもん広場も盛況



素晴らしい作品の数々



道下の芸達者のみなさん!!



よさこい「いぶき」のみなさん



消防11分団さんも文化祭に参加

道下の歴史を語る会

魚津駅誕生と海岸線

今回は「駅の誕生までと、魚津駅に関わるいろんな事を尋ねて」と題する寺田委員の提案の一部を紹介します。

氏によれば、日本の鉄道建設は政府主導によつて進められたそうだ。富国強兵の合言葉のもと、経済の海外進出の上で国内の景気浮上効果を図り、軍事面から日本全体として師団、連隊の所在地間を結び、軍事機能力を有効に発揮させる必要があつたからだ。

明治二十五年「鉄道敷設法」が公布され、北陸線建設計画が盛り込まれて、翌年着工された。敦賀から工事が始まり、七年後の明治三十二年富山に達し、米原・富山間が開通した。すると、東京に繋がる信越線への接続を目指す富山・直江津間（富直線）の建設が強く要望された。民営建設の計画も出されていたが、北清事変、日露戦争と続き、実現には至らなかつた。し

かし、日露戦争が終結する明治三十九年、親不知の難所を抱える富直区間は民営では無理と判断され、富直線を含めた「鉄道敷設法改正法」が議決され、官設方針が貫かれた。そして翌年四十年には富山、四十一年には直江津から工事が始められた。

明治四十一年十二月十六日、ついに富山・魚津間に開通したのである。富山から魚津に延長される時、仮駅だった田刈屋の富山駅は現在の富山駅に移転している。

富山・魚津間の開通祝賀式については、富山日報には「三

富山新停車場から魚津駅の開通式場に赴くべく十数両連結したる列車は動き始めたり、七時二十二分東岩瀬駅、七時三十九分水橋駅、七時五十七分滑川駅、そして八時十九分

予定の如く魚津駅に到着した。当駅にては、式の準備はまだ整わず、緑門の如きは、尚建設中なりしが、列車到着して一同降車するや、例によつて、轟然たる煙火と、奏楽

を吹いて、寒き事云う計りなかりき、斯くて、九時頃貨物倉庫内にて開通式開始せらる。「」と書かれており、北風が吹き、霧が降る寒さが激しい中での魚津駅のスタートであった。開設当初の魚津駅の業務は、乗車人員四〇〇人、降車人員四〇〇人、貨物輸送三百〇tだった。

一年七ヶ月後明治四十三年には魚津・泊間が開通。しかし、新潟県側は山が多く難工事だったので、富直線が全線開通したのは、さらに三年後の大正二年四月であつた。この開通したのは、さらによく三年後

れで米原・直江津間が繋がり「北陸本線」と命名された。これにより、富山から米原経由東行きの所要時間二十四時間が、直江津経由信越線接続で十六時間に短縮された。さて、魚津駅が設置される時、当時の鉄道院は、魚津町の発展を予測して、市街地の北側の郊外にあたる道下村に、一万五千坪の敷地を確保して駅を建設した。この時、さら

に船から陸揚げした建設資材運搬のために、駅より西南の

海岸（今の港町辺りか）へ約一・二kmの支線（海岸線・通称「浜線」）を建設。終点に敷地一万坪の貨物用停車場と工事用資材の集積場を設置。当初、鉄道院は富直線の建設工事終了後、駅より市街地に近いこの貨物停車場で一般の営業を開始し、さらに石炭の貯炭場を設ける計画も構想していた。

しかし、鉄道と船舶の連絡荷役を可能にするには湾岸整備に多額の費用を要することや、海岸線を利用する貨物が当初の予想ほど見込めないことなどから、地元の再三の請願活動にもかかわらず、北陸



魚津駅　列車開通の日



第五十六回 富山県小学生
火災予防研究発表会

最高賞へ特選

道下小学校四年生

魚津市体育功劳賞
加藤 孝氏

(本新区)

魚津市産業経済功劳賞
松本 守久氏

(岡田区)

富山県公民館連合会

優良職員

米山 明美氏

(羽根堂区)

道下の子どもたちの元気な活動



6/6 敬老会ジュニアボランティア



5/22 四葉のクローバーを見つけよう
-ネッコランド“埋没林博物館”-



5/8 「母の日」のプレゼント作り
感謝を込めて作りました



8/8 夏まつりに向けて練習にはげむ子ども達



6/15 ジュニアサロン15ウォークラリー
魚津の城めぐり-クイズに挑戦



9/25 土と自然と遊ぼう なないろKAN
-作った作品は文化祭に展示-



9/21 ジュニアサロンⅠ 6
いろいろな色のお弁当を作ろう



8/18-19 立山少年自然の家へ=チャレンジ=



12/18 三世代ふれあいもちつき会



11/20 花ふれあい交流
一人暮らしの方々へ花鉢プレゼント



11/1 富山市科学博物館へ行こう

道下地区の人口 (平成22年12月1日現在)

男 3 041 人 (+30)

女 3170人(-16)

計 6111人(+14)

世帯 2247戸 (+ 5)

※かつて内は前号対比

「道下の旗」が出来上がり、地区住民に親しみのある「旗」となっていくだろう。昨年は「道下Tシャツ」を作成し、多くの皆さんから心を呼んだが、これで外見上は他地区に先がけた格好となつた。

しかし、本年は、外見だけではなく、ソフト面の充実もしっかりと行きたい。さて、昨年の公民館行事に対して、多くの皆さんから「良かった」「良くやっている」等々、好意的な意見をいただき、関係者一同胸を撫で下ろした。これも、各種団体のご支援のお陰である。

ところで、「道下の旗」を作った地区振興協議会の願いは、各種団体がもつと自立、自主運営の力を養つて、地域事業として課題や振興に取り組もうというものだ。住民の総力で組織を充実させ、地区的活性化へと発展し、全体が一本の「道」に繋がれば、名実ともに「道下の旗」の下での結集となるであろう。

今年は兎年、さらなる飛躍の年にしたいものである。